

小中一貫教育だより

加東市教育委員会 小中一貫教育推進室

E-mail shochu-ikkan@city.kato.lg.jp

令和5年9月8日発行

東条学園小中学校 ～平和の大切さを学ぶ取組を紹介します～

東条学園では、1学期に、6年生が校外行事で広島を、9年生が修学旅行で沖縄を訪れ、平和の大切さについて学びました。校外行事や修学旅行後には、現地での学びを互いに伝え合うことで、国際社会の平和や発展に貢献する態度を育成しています。

また、昨年度から8月の広島・長崎の原爆の日に合わせて、学園生が平和の大切さを学ぶ日として、平和登校日を設定しています。8月7日（月）の平和登校日には、7・8・9年生が、一堂に会して学年の代表者から平和についての意見発表を聞きました。6年生は、5年生とグループごとに交流し、広島で学んだことを伝えました。1年生から4年生は、各学級の担任から、戦争の悲惨さや平和の大切さが伝わる絵本を読み聞かせてもらいました。

この日は、ちょうど他市の視察団が小中一貫教育の先進校視察のために東条学園を訪問されていました。学園生同士の交流の様子を参観されていた方からは、「異学年同士のつながりを大切にしたい良い取組ですね。」という感想をいただきました。

このように、小中一貫教育では、子どもにつけたい力を意識し、異学年同士のつながりを大切にしながら系統的に学ぶことで、学びが深まるよう努めています。



〈7・8・9年生の交流〉



〈5・6年生の交流〉

東条学園小中学校 ～学園のシンボルとなる花壇が完成しました～

6月25日（日）に、東条学園大グラウンド側の法面に、「TOJO」の文字の花壇が完成しました。これは、東条地域の地域学校協働活動推進員の藤本和之さんが中心となり、東条学園が取り組む「コスモス花いっぱい運動」を具現化する取組として花壇づくりを計画されました。その花壇に旧東条町花であり現在は市花であるコスモスを咲かせることで、学園生や地域の人々の心を明るくしようというねらいのもと、学校と地域とが力を合わせて実施されました。

当日は、地域学校協働本部運営委員、東条学園 PTA 有志が集まり、花壇に土を入れました。軽トラックで法面下まで土を運んだ後に、参加者がリレー形式で土の入った袋を花壇のところまで持って上がりました。重い袋を何度も運ぶ作業でしたが、花壇が完成したときには、参加者全員で喜び合いました。

8月7日（月）には、学園会中央委員が、コスモスの種を花壇にまきました。種をまき終えた中央委員からは、「この花壇が学園だけでなく地域のシンボルとなるよう大切にしていきたい。」「花壇を見た学園生の心が明るくなるよう、しっかりと世話をしていきたい。」等の強い決意が聞けました。

なお、コスモスの種は、学園生や地域にも配布されました。今後、コスモスが咲いた後には、春の卒業式にむけて新たな花を植える計画が立てられています。小中一貫校では、学校と地域が共に力を合わせ、心豊かなまちづくりにつながる活動を大切にしていきます。



〈6/25 地域学校協働本部運営委員とPTAでTOJO花壇の完成〉

〈8/7 学園会中央委員による種まき〉

社地域小中一貫校建設工事 ～工事の進捗状況を紹介します～

社地域小中一貫校の工事の様子を紹介します。右上の写真は、建設現場を、北側上空から撮影した様子です。写真中央、黄緑色の屋根の建物が、既存の社中学校体育館です。社中学校の体育館を囲む形で、左に新しい体育館棟、上に小学生が入る増築校舎棟、右に図書室が入る交流棟を建設中です。

新しい体育館完成後、既存の体育館を取り壊し、中庭として整備します。8月末時点の工事進捗率は、39.3%となっています。

続いて、右下の写真は、建設現場の南東側、以前のカセ池から8月18日に撮影した工事の状況です。

クレーン車が4台入り、体育館棟、増築校舎棟、交流棟の建設工事を並行して集中的に進めています。体育館棟では、3階の工事を、増築校舎棟では2階の工事を、交流棟では、鉄骨工事をを行っています。社中学校の協力を得て、安全を第一に工事を進めています。

今後も、社中学校の子どもたちの教育環境を守りつつ、工事を進めていきます。令和6年度の完成が楽しみです。



〈8/18 以前のカセ池から撮影した工事の様子〉

社地域小中一貫校校歌 ～兵庫教育大学教授のお二人に依頼しています～

社学園の開校に向けて、現在、地元の大学である兵庫教育大学のお二人の方に依頼しています。

作詞者は、兵庫教育大学大学院教授の吉川芳則先生です。子どもが主体的に取り組む国語科授業を研究され、子どもがことばを学ぶこと、ことばで表現することの楽しさを実感できる授業を広めるべく、全国各地の小学校で指導されています。作曲者は、同じく兵庫教育大学大学院教授の草野次郎先生です。草野先生は、小学校教員を目指す学生へ音楽の感動を伝える授業について指導される一方で、作曲活動に取り組み、東京国際歌曲作曲コンクールやTIAA全日本作曲家コンクール等、数々のコンクールで受賞されています。

現在、子どものことをよく知るお二人の先生が力を合わせ、子どもに愛され、地域に愛される校歌を作成していただいています。校歌は、今年度末に完成予定です。

滝野地域小中一貫校 ～基本設計を進めます～

滝野地域開校準備委員会では、通学方法、スクールバス乗降場所の検討及び滝野地域小中一貫校基本設計の意見聴取を行っています。現在、滝野地域小中一貫校建設のための用地の取得中です。今年度は、教職員プロジェクトチームを立ちあげ、教職員の意見を基本設計に反映させていきます。さらに、滝野地域制服検討部会を立ち上げ、滝野地域小中一貫校の制服等の検討に入ります。